

えほん きゅうしょく 絵本コラボ給食!

12月 10日 (水) 「根菜ととりにくの煮物」「とん汁」

『タスキメシ』 額賀滯 作 小学館



「けがをしたとき悲しかった。悔しかった。でも、安心もしたんだ。」

「やめる口実ができたから？」

「もう、俺は、弟に負けないで済むんだ。」

ぽたりと、まな板のうえに棗がおちた。

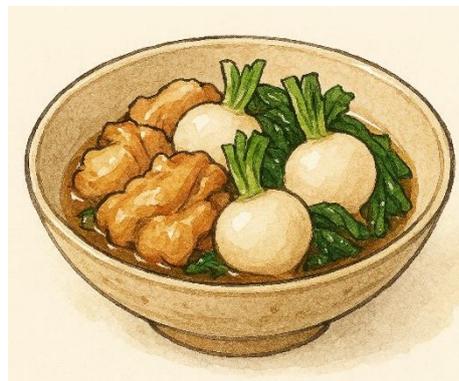
「おいカブにおとすなよ。しょっぱくなるじゃねえか」

手の甲で目元を覆って、胸に詰まっていたものを吐き出した

「いい隠し味になるよ、きっと」

あらすじ

高校生の早馬は、箱根駅伝を目指して活躍していた。しかし大けがを負ってしまいリハビリに励んでいた。ある日、料理研究部の井坂都と出会う。都と出会ったことで、早馬は料理に没頭するようになる。リハビリもせず料理に一生懸命になる早馬。陸上部で活動する弟の春馬、陸上部部長である親友の助川、早馬と大会で競い合ったことのあるライバルの藤宮は、早馬が一日も早く陸上の世界に戻ってくることを願っている。しかし周囲の願いとは裏腹に、早馬はどんどん競技から離れていく早馬、春馬、助川、藤宮、都。それぞれの想いが絡み合う中駅伝シーズンが始まる。(出典：ウィキペディア)



1月2日(木)3日(金)に開催される箱根駅伝にちなんで、駅伝が題材の『タスキメシ』とのコラボ給食!ぜひ読んでみてください

